



～夢・未来へ～  
町民と議会をつなぐ

第101号  
令和6年4月17日



定例会毎に発行

# 河津町議会だより



河津小学校第1回卒業式

P. 2～P. 4 町は私たち町民のために  
何をしてくれますか

▶令和6年予算審査特別委員会

P. 5 第1回定例会・臨時会

P. 6～P.12 町政を問う

▶一般質問（7人）

P.13 視察報告

▶委員会の活動

P.14 能登半島地震派遣レポート

▶議会のうごき・一部事務組合ほか

P.16 私の一言 ～河小1年の振り返り～

▶河津小学校校長／鈴木 健五

▶河津小学校第1期卒業生／土屋 カンナ



YouTubeで  
議会映像配信中



河津町議会  
WEBサイト

## 町は私たち町民のために何をしてくれますか？

令和6年度予算案を各課ごとに集中審議するため、議員による「予算審査特別委員会」を設置。3月6日から7日間にわたり、活発な質疑を展開し審議した。

一般会計予算  
48億5,300万円  
(前年101.7%)  
承認可決！

委員長 大川良樹 副委員長 渡邊昌昭  
委員 正木誠司、北島正男、桑原猛、遠藤嘉規、上村和正、渡邊 弘、稲葉 静、宮崎啓次

幼・小・中学校の  
給食費補助を拡充増額  
454万円



これまでの1,000円を  
2,000円に倍増。

GIGA スクール構想へ。  
小、中学校の情報通信ネット  
ワーク環境整備 1,657万円

# GIGA

Global & Innovation  
Gateway for All

(児童・生徒の為に世界につな  
がる革新的な扉)

☆GIGA スクール構想＝大容量のインターネット環境を整え、ひとり1台のパソコンを使い、デジタル教科書など新しい世界が展開される。

保健福祉防災センター長寿命  
化事業 1億6,900万円



経年劣化による雨漏り、外壁タイルの剥離などの修繕を実施し長寿命化を図る。

### 一般会計予算案に対する質疑と回答

●職員の労働環境改善は

時間外が108%

職員の負担軽減策は。

DXを推進することにより軽減を図る。

●購入した土地に関して

かわづっこ広場の

駐車場用地のアスファルト舗装は必要か。

土地の沈み込みや、ホコリ対策が必要。

桜まつりの駐車場兼用も考慮しているか。

かわづっこ広場は、利用者のために花卉園は、兼用を考える。

南中跡地の代替の花卉園では、駐車スペースが減少するが。

半分弱になるが、すでに民間で500台分増えている。

●役場職員採用未達

応募数の減少か。

民間が処遇改善を図り、地方公務員の応募

が減少気味。

●役場公用車に関連して

3台購入の内容と町内事業者への発注か。

EV車(電気)を含め、町内販売会社を指名し入札予定。

町長車はいつまでリースなのか。

車両供給状況をみて新車を購入する。

●小中情報通信ネットワーク整備の内容は

GIGA関連のネットワーク工事は電波の弱さと、WiFi整備か。

現在2つのネットワークがあり、他に教師用もあり、配線を含めシンプルに整理する。

生徒の端末は、すでに旧タイプであり、新しくなるか。

今期は学校内通信環境の整備で、生徒の端末は来期になる予定。

### 家屋の無料耐震診断や木造住宅の耐震補強とブロック塀などの改修促進を補助

877万円



こうなる前に、耐震診断や改修の促進のため、TOKAI-ゼロの活用を促進する。

### 防災施設・防災対策

3年計画の2年目の同報無線のデジタル化で、難聴地域の解消と他のデジタル機器との連携など多用途の活用を目指す。

1億9,674万円

備蓄食料 13,000食と飲料水 1,800本ほか資材を今期追加。

1,797万円



### かわづっこ広場の駐車場拡幅整備

6,900万円



駐車場が常時不足しているため、隣接町有地を活用する。

### 花卉園駐車場の土地取得と整備

1億2,030万円

既存駐車場と合わせ、広さは1,260㎡。河津桜まつり時の南中跡地駐車場の代替として半分弱の駐車場確保となる。



### 七滝駐車場トイレの解体、移転新築工事

8,620万円



#### ●防災について

**質問** 能登半島地震を受けての、計画の見直しは。

**答え** 県の防災計画の見直しに合わせる。

**質問** 備蓄食料の量や消費期限などの管理を、地区に徹底しているか。

**答え** 毎年、点検書式を用いて実施していただいている。防災課の見回りも年数回実施している。

**質問** 避難訓練は、津波と地震、夜間など細かく実施し、問題点の抽出を。

**答え** 災害の種類別や夜間実施など検討する。

#### ●森林整備事業の対象は

**質問** 委託する内容は。

**答え** 今回は城山の整備で山頂付近の支障木伐採。

#### ●風土の森

**質問** 今後の考え方は。

**答え** 活用が見いだせなく苦慮している。

●景観計画はどうなっているか

**質問** 歳出の予定が無いが、いつ公表するか。

**答え** 印刷は、役場内で実施し、費用は掛からない。4月に公表し、周知の後、7月から施行。

**質問** 湯ケ野の文化的資産など河津の宝を保護、保存しないのか。

**答え** 所有者や湯ケ野地域と調整が必要。即答はできない。

#### ●定期予防接種

**質問** BCG、風疹、日本脳炎他に加え、子供のインフルエンザ補助はしないのか。

**答え** 任意接種であり、予算要求はしていない。

#### ●遊び名人塾

**質問** 廃止理由と補完は。

**答え** 小学校統合を見据え実施してきた。今後はスポット的に実施したい。

**今年もやります。**

**<家庭経済支援策>**

**高校通学定期1/2補助**

**580万円**



**プレミアム工事券 870万円**



**新しくやります。**

前の2、3ページ以外の新しい取り組みは、

- ・ワーケーション推進事業で、インターンシップ（学生が企業などで就業体験をすること）の滞在費など補助。
- ・骨髄ドナー助成  
ドナーの経済的負担軽減と勤務する事業所にも助成
- ・移住定住促進事業として、移住希望者の滞在費補助
- ・犯罪被害者等見舞金の新設
- ・防災対策の一環で、パワームーバ（給電器）、ポータブル蓄電池、LEDライトなど購入。

**学校給食センター設備改修事業**

**5,500万円**



大型調理器や、洗浄機器の耐用年数による入れ替え。

**踊り子温泉会館 設備修繕**

**1,783万円**



受湯槽(写真下)の入れ替えと給水加圧ポンプやボイラーの取替。

場所の開設ではない。

**●子ども家庭センター**  
**質問** どのような組織か。  
**答え** 相談者に対し、担当者がワンストップで各課を横断し、サポートプランを作る中心（センター）的機能で、窓口や場所の開設ではない。

**●放課後児童クラブ**  
**質問** 歳出の77万円の使道は。  
**答え** 資機材の借り上げやクリーニング料など。  
**質問** ほかに要望は届いているか。  
**答え** 委託事業の一つで場所や環境の改善の要望に対し現行予算では大掛かりな改修は難しい。

**少数意見報告書**  
 3月13日の予算審査特別委員会において、留保した少数意見  
 1 歴代町長名札掛作製原材料費については、厳しい財政運営において町民からの要望を先に叶えるべきで不必要等の意見。

**議員の現地調査**  
 かわつっこ広場の駐車場拡幅整備では、盛土及び側溝と道路の一体整備となり使用目的による工法の確認。他に温泉会館の設備修繕箇所の確認。

2 かわつっこ広場駐車場拡幅整備工事については、財政状況が厳しい中、今後の当該地における事業展開のビジョンが明らかでなく承認できない。アスファルト舗装は必要ない等の意見。

**予算審査特別委員会 付帯意見**

- 1, 子供の施策に重きを置く河津町として、放課後児童クラブの現状は看過できない。早期に劣悪な環境の改善を図られたい。
- 2, 河津町第5次総合計画、河津町景観計画に盛り込まれている「伊豆の踊子」に関する文化財・景観の保護を図られたい。

## 令和6年 第1回 河津町議会定例会（抜粋）

第1回定例会が令和6年3月5日～14日の日程で開催された。

人事案件1件、専決案件1件、条例案件13件、指定管理者の指定3件、事務委託廃止1件、令和5年度補正予算3件、新年度予算8件、単行決議2件の全32議案について審議を行い、条例案件2件を否決、残り30件について可決・同意・承認された。

\*6日に否決された2件については、14日に修正案が提出され賛成多数で可決された。

### 議案（抜粋）

●踊り子温泉会館及び母戸の番屋の入浴施設の設置及び管理運営に関する条例の一部改正

\*入れ墨、タトゥーがある者の入場規制に関する規定を削除するもの。

**反対討論** 改正の内容には賛成だが、公布日から即日施行では一般客及び従業員への周知が出来ないため反対する。（宮崎啓次）

**賛成討論** 国会においても公衆浴場法に沿った形で可決されているので賛成する。（上村和正）

\*反対多数により否決

**反対**・正木誠司、北島正男、渡邊昌昭、渡邊弘

稲葉静、宮崎啓次

**賛成**・大川良樹、桑原猛、上村和正

\*14日に、施行日を変更した修正案が提出され、賛成多数により可決。

●固定資産評価審査委員会委員の選任（新任）  
堤 重佳（川津筏場）

●指定管理者の指定

・今井浜海の休憩所

（一社）河津町観光協会

**質問** 海の家や管理運営者を他に募集した場合、請負法に抵触しないのか。

**回答** 指定管理者制度上で問題はない。



今井浜海の休憩所

・河津桜観光交流館  
（一社）河津町観光協会  
・伊豆太陽サービス㈱

●河津町景観条例の制定  
景観法に基づき条例を制定

**質問** 町外の工事業者等への周知は行つのか。

**回答** 事前に周知する。

### 施政方針（抜粋）

●令和6年度河津町予算総額は72億3803万9千円。一般会計当初予算48億5300万円、前年度8100万円1.7%増となった。

●地域公共交通について新たなモビリティシステム実証実験の実施に向け民間事業者との協議を進める。

●見高地区において伊豆縦貫自動車道建設発生土を活用した優良農地創出に向けた基盤整備事業を実施。

●町内学校施設を中学校周辺に整備するため文教施設整備検討委員会を設置。小中一貫校の教育形態、施設形態に

ついて令和6年度末を目標に諮問内容の答申をいただく。

### 臨時会（抜粋）

令和6年1月31日に開催し、先決処分承認1件、条例改正2件、一般会計補正予算1件について審議を行い、それぞれ承認・可決された。

●国庫補助金7032万5千円が交付され、住民税非課税世帯等臨時特別給付金として現金を給付。

●町長から諮問を受け、河津町特別職報酬等審議会より、17年間改正が行われていない特別職の報酬改定について答申があり、常勤の特別職及び議員報酬の改定が行われた。

# 町政を問う

# 一般質問



災害対策本部運営訓練



わた なべ ひろし 議員

動画にて  
議会の様子が  
ご覧頂けます



## 質問 海からの防災対策、防災港は

答え 現状で検討は考えていない

**質問** 地震の想定、津波の想定、防災計画は。

**町長** 最悪のケースで想定震度6弱津波高最大13メートル到着時間3分、死者数900人などの想定がされている。発生時には災害対策本部を立ち上げる。

**防災課長** 震度5以上の地震発生した場合直ちに

災害本部を設置し活動する。設置場所は役場災害対策本部室になる。

**質問** 避難所の対策として想定人数、備品、食料の確保は。また、感染症対策、福祉避難所、遺体安置所、災害ごみなどの対策は。

**防災課長** 指定緊急避難所は学校や各地区公民館

を指定している。想定人員は7000人、備品などの対応もしている。感染症、福祉避難所、遺体安置所なども対応する。

**質問** 地域の孤立道路の寸断が考えられる。海からの物資の補給も含めて発生土の活用で防災港など提案は。

**町長** 考えておりません

## 質問 バガテルの有機水耕栽培計画は

答え イチゴ、メロンの育苗を実施している

**質問** 指定管理がスタートして1年になる。指定管理料を含む費用は4千5百万円。今年度の集客人員と対前年度の数字はどうか。

**町長** 春バラシーズンの対応が遅れた感じがする。収益面では前年を少し上回ると考えている。

**企画調整課長** 集客人数

は2万4千人で昨年度対比は78・6%です。収益額は入場者1979万円店舗収入1472万円で増額になっている

**質問** 事業計画書は提出され承認されたか。

**町長** 令和5年10月末に提出され再生検討委員会

で承認されている。  
**質問** 東京農業大学と協

定し水耕栽培で河津夏イチゴの計画があるがどこまで進んでいるのか。

**企画調整課長** ビニールハウス一棟を使い試験栽培を実施している。イチゴとメロンの苗を育苗している。

**質問** 集客人数の想定は  
**企画調整課長** 収支計画からすると4万人程度。

# 町政を問う

# 一般質問



ラーケーション=Learning(学ぶ)+Vacation(休暇)

出典：愛知発の新しい学び方「ラーケーションの日」ポータルサイト

動画にて  
議会の様子が  
ご覧頂けます



うえむらかずまさ 議員 上村和正

**質問** 職員の兼業許可の明確化を

**答え** 現在考えておりません

**質問** 担い手不足が進んでいるので、職員の兼業を推し進めては。

**町長** 県や都市部などでは営利企業への従事等の兼業も考えられるが、現状を考えた時に、勤務状況意識がそこまで追いついていないふうに思われる。兼業として報酬を受けて行うことも可能だが

現状ではボランティアとして地域貢献する方が住民の信頼を得られるものと考えている。

**質問** 北海道厚真町の兼業許可に関する事務取扱規定をこのまま町で利用しては。

**町長** 本人の職務状況にもよるが、例えばライドシェアの登録の運転手だ

とか可能性としてはボランティアに準ずる形で考えられる。ただ現状では職員は大変今職務は厳しい状況にあるので、私としては、なかなか考えられない。

**質問** 若い職員に兼業を認めさせては。

**町長** やる予定もあるかもしれませんが。

**質問** ラーケーションの導入を

**答え** 単独で取り組む事は考えていない

**質問** ラーケーションとは、年間3日間、小中学校で平日学校に行かなくても欠席にならない日を設け、土日に保護者が仕事で休めない家庭で、平日に子供と一緒に過ごし学習活動を楽しむ取り組み。導入しては。

**教育長** 町単位での学校で設定するのではなく、

県全体で休み方改革を考え、その上で取り組んでいく事が望ましいと考えている。愛知県の導入の状況は、働き方改革、休み方改革の一環と言われ製造業の従事者が県民の四分の一ほどを占め、祝日も工場を稼働させるケースが多く休み方改革のプロジェクトとして推

進してきた。ただ家族との触れ合う場、子供たちの視野を広げるなど制度には意味があると思うので本県の取り組み、愛知県のアンケート調査による結果、効果、課題について、市単独で取り組みうとしている市にも注目していきたい。

# 町政を問う

# 一般質問



新たな情報発信ツールとしてLINEを導入



おおかわよしき 大川良樹 議員

動画にて  
議会の様子が  
ご覧頂けます



**質問** 町内公共交通の変更、改善点は

**答え** 寿回数券が案内所で直接買える

**質問** 地域公共交通会議で17時以降新たな公共交通の検討はされたのか。

**町長** ライドシェアの活用ができればと考える。タクシー事業者に現状を確認したが、ドライバーの高齢化で人員確保が難しい。

**質問** 令和6年度町内公共交通の変更、改善点は。企画調整課長 1、町営

バス逆川線運行経路の変更。2、東海バスの運賃変更による、自主運行バスの料金変更。3、寿回数券の上限撤廃と役場への申請を無くし、直接東海バス案内所での購入が可能になる。

**質問** 町の考えるデマンド交通とは。

**町長** 町バスを自宅近くまで行ける、デマンド方

式にし、今の形でなく自宅から運行できるように形が良い。  
**質問** ライドシェアを含む新たな公共交通システムの検討は。  
**町長** ライドシェアについては、国の制度改革を見ながら、これまでの取り組み事例を参考にし検討していきたい。

**質問** 新たな情報発信ツールの検討は

**答え** 自治体公式LINE導入

**質問** 情報発信、周知の工夫は検討されないのか。

**町長** 職員で構成する高度情報化委員会のなかで検討を進めている。

**質問** 新たな情報発信のツールとしてLINE等の検討は。

**総務課長** 町の情報発信は、防災関係を中心に同報無線、防災メールというものが、また農協

の有線放送を含めたことが現状。新たな情報発信としてLINEの活用を行う予定。

**質問** LINEの活用と自治体DXの町長見解は。

**町長** 高校生の通学定期代補助事業で電子申請の取組みをしている。DX化は必要であると考える。

**質問** 自治体DXの整備促進と進捗状況は。

**総務課長** 主に3点実施をしている。1、事業化すべき課題の検討。2、実施体制の構築。3、人材の育成。これらにより自治体DXに向けた事業推進を図る。来年度B&G体育館の遠隔施設システム導入等、今後自治体公式LINEの活用を進めていく。



# 町政を問う

# 一般質問



児童クラブ/暖房のある部屋に集まってしまい密集危険状態。



きた じま まさ お 議員  
北島正男

動画にて  
議会の様子が  
ご覧頂けます



**質問** さらに充実されるべき災害対策は

**答え** 上限無く対策の充実をはかっていく

**質問** 災害対策の積み上げと指定孤立4地区の特別な対策は。

イバルフーズ、水、浄水器を配置。

**町長** 防災拠点・消防の蔵地場・防災公園の新設、防災無線のデジタル化、ドローンの活用など進め、災害対策は、上限無く最善を尽くしていく。

**質問** 自分を守る自助の備えの促進策の徹底は。

**町長** 備蓄の備え及び補助のある家具転倒防止器具の設置、家屋の耐震化を促進していく。

**防災課長** 備蓄食料1万3千食、水1千8百本追加。孤立地域には、サバ

**防災課長** 防災ガイドブックや防災だより、また避難訓練を中心に徹底する。

**質問** 放課後児童クラブの環境改善を

**答え** 現状で良いとは思っていないが

**質問** 小学校体育館の2階で実施されている、放課後児童クラブは、一つの部屋と、体育館の一部である「踊り場」という部屋ではない所で構成され、2階なので、送迎時やトイレ、手洗いは1階で、防犯上支援員が都度同行する。もし不審者が進入したら逃げ場がない。「踊り場」は空調

が無く、夏と冬は子供たちも支援員も最悪の環境で、空調のある部屋に集まり密集し、感染症も怖い。何とか改善を望む。

**町長** 学校の一部や役員内の使用など工夫して続けていく。学校内にある事は良く、ご意見は今後伺っていく。

**介護福祉課長** 2階であることや夏冬の厳しい時

期は対応に苦慮している。学校内であることや日にちによっては体育館も使えメリットもあり、当面は現行で。

**教育委員会事務局長** 小中一貫校の整備計画と一体での検討は可能。他「労働力不足改善の施策」

「協議を進めている看板戦略の早期実現」2件

# 町政を問う

# 一般質問



庁舎入口に展示された家具転倒防止器具



動画にて  
議会の様子が  
ご覧頂けます



わた なべ まさ あき  
渡 邊 昌 昭 議員

**質問** 能登半島地震、平素からの教訓は

**答え** 各種の訓練により被災者を減らす

**質問** 能登半島地震を受

実施している。

け、緊張感の高まる中、

**防災課長** 訓練メニュー

訓練がマンネリ化してい

から選択し、自主防災組

るとの声があるが、今後

織、消防団等の地域防災

どのような訓練を計画し

力の向上、自らの命は自

ていくのか。

ら守る、自らの地域は皆

**町長** 年に数回の避難計

で守るといふ自由意思の

画づくりや児童生徒など

定着を図る。

への防災講座の開催、本

**質問** 建物や家具の転倒

部運営訓練、災害ボラン

による被災者が多いが、

ティアの運営訓練などを

空き家、ブロック塀、家

する。

**町長** 河津町ブロック塀

等耐震改修促進事業補助

**質問** 孤立予想地域の避難所対策は

**答え** 各地区に防災資機材を配備する

**質問** 大地震が発生すれ

い。賀茂地域局では対策

ば大鍋、小鍋、梨本、縄

として臨時ヘリポート候

地の4地域の孤立が予想

補地の現状、現況確認や

される。孤立地域は避難

防災機能の確認を行って

所生活が長期化する。機

いる。

材やガソリン等の備蓄は

**質問** 孤立地域の通信手

どのように指導するか。

段にデジタル無線機を配

**防災課長** 各地区に防災

備しているが山間部での

資機材を配備している。

感度はどうか。また停電

自主防運営交付金を計画

時に同報無線はどの位使

的に活用していただきた

えるのか。

することが出来る。

# 町政を問う

# 一般質問



町民と共に未来の河津へ



くわはら たけし 議員  
桑原 猛

動画にて  
議会の様子が  
ご覧頂けます



## 質問 町職員の人材育成の考えは

### 答え 職員の提案制度なども採用

**質問** 職員の業務へのモチベーションを保つ意味で町職員の希望の聞き取りなどを行っているのか。

**町長** 職員と直接面談をし、考え方も把握した中で、人事評価また希望も含めた中で対応している。また、職員の提案制度なども採用し、職員のモチベーションが上がるよう取り組んでいる。

**質問** 世の中の変化が急速に進む今、研修に行つて終わりにならないように、それに伴う勉強会や、部署内等での研修内容の共有を図っているのか。

**副町長** 職場における職場研修、オンザジョブトレーニングを取り入れ、各課で実施していると認識をしている。資格取得に関しては職員の自己啓発研修費助成要綱があり、職務と関連する資格等の取得については助成を行う仕組みがある。

## 質問 町長が考える新しい時代のまちづくりとは

### 答え コンパクトでありながら暮らしやすいまち

**質問** 町民とともに作り上げていく、共創のまちづくりとして、民間の力も活用しながら、町民とともに新しい時代のまちづくりに取り組みしているが町長が考える新しい時代のまちづくりとは具体的にどのようなことを考えているのか。

**町長** 基本的な課題である人口減少や少子高齢化の解消に向けて、各種政策を現在行っている。具体的な指示については、大きくは、総合計画、またそれに付随するローリング計画や過疎計画、財政計画などを踏まえて、予算編成方針や予算化を通して具体的な事業を進めている。また、新しい

時代のまちづくりとして、全国の市町村でも限界集落や消滅都市が今後予想される中で、長く引き継がれる町になるように、それなりの人口も維持をされ、コンパクトでありながら暮らしやすいまちづくりのために今後取り組んでいく。

# 町政を問う

# 一般質問



旧見高入谷高原温泉施設



まさき せいじ 議員

動画にて  
議会の様子が  
ご覧頂けます



## 質問 河津町公式LINEの導入は

答え 6年度に導入予定

**質問** LINEの導入については、これまでの回答で「係を新設して進めていく」とあったが、高齢者向けの使い方教室や講習会等を考えているのか。

**町長** 仕組みづくりが決まっていないので検討中ではあるが、できるだけ自身でチャレンジして頂

くか、家族に協力を求めるなど、少しでも工夫や努力をして欲しい。導入した場合には、一定の期間は電話や窓口で対応したい。

**総務課長** 専門的知識を持つ地域活性化企業人の活用も考えていきたい。

**質問** 導入の費用はどのくらいか。また、高齢者

のスマホ購入費用の補助等は考えているのか。

**総務課長** 導入費用は約75万円程度、月々の使用料は8万5000円を想定している。スマホ購入の補助については検討していない。今後の色々な中で検討していく事だと思ふ。

## 質問 見高入谷高原温泉の今後の活用は

答え 現状の賃貸を続けていく

**質問** 現在、2社に建物を貸し出しているが、今後、温泉施設として再開するような検討はされているのか。

**町長** 現在、賃貸で管理して順調であり、まずは現状の維持をしていく。将来的には周辺の所有地も含め、民間事業者が地域貢献も含め事業展開をしてくれるよう窓口を開

いて検討していきたい。

**産業振興課長** 2社とも令和6年3月末の契約で、両社とも更新を希望している。その他、別の会社にも水供給しており更新の予定。このような状況から、現状の契約に基づき維持管理を進めていく予定。

**質問** 温泉施設として使う見込みは考えていない

のか。

**町長** 源泉管が途中で破損して水が入っている現状や、レジオネラ菌の問題もある。検討したい。

**質問** 賃貸について町の規定はあるのか。  
**産業振興課長** 規定はないが財産管理部門と検討して決めている。

# 委員会活動

## 第1常任委員会

町有財産の活用に関する事項について調査。

12月15日

委員会を開催し、旧西小学校、旧東小学校の利活用に関する進捗状況について企画調整課から説明を受けた。

1月23日、24日

視察研修を行い、千葉県安房郡鋸南町「道の駅保田小学校」、千葉県南房総市「シラハマ校舎」を視察した。

1月29日

委員会を開催し、視察報告書の作成について協議した。



シラハマ校舎

## 視察研修結果

### 道の駅 保田小学校

町が基本コンセプトを持ち、全国的に公募し、小学校に特化した個性を打ち出し、指定管理契約を結び、年間約100万人が来場する道の駅となっている。



里山市場きよなん楽市

### シラハマ校舎

廃校舎利用を告知し、運営管理者は公募により賃貸契約を結び、宿泊、シェアハウス、飲食、貸コテージと「無印良品の小屋」の別荘販売・管理を行っている。今後は周辺の荒廃農地を活用していく予定。

## 第2常任委員会

1月22日、23日

町内への事業誘致・企業誘いによる町内経済の活性化を目的に視察研修を実施。

## 視察研修結果

### ガイアフロー静岡蒸留所

設立当時の国内蒸留所は8か所であったが、現在は70か所に増えており、競争は激しくなると予想される。しかし、ジャパニーズウイスキーは世界市場で認められており、条件が揃えば事業参入は見込まれる。



ウイスキー熟成庫



工場長から説明を受ける

### 酪農王国オラツチェ・ビール工房

1997年よりクラフトビール醸造を開始。主に静岡県東部で販売を行っている。酒造免許の種類により最低年間製造量が決められているため、販売先を確保する事が重要となる。しかし、行政と地元経済団体が協力して誘致を行い、既存の醸造会社が拠点を作り生産を行う地域密着型の小規模醸造ビール工場の設立は可能。

## 議会改革特別委員会

2月6日

議会改革を活性化するため、東伊豆町議会との交流研修会で早稲田大学マニフェスト研究所の講師を招き、議会改革に関する講習を受講した。

2月16日

議会改革度調査項目から改革をすべき事項を各議員が共有し、議会モニター、議会サポーター制度について意見交換を実施した。



円卓会議で意見を出し合った

議会の動き



遠藤 嘉規 議長

議会活動も、コロナ前に戻り活発化しております。令和6年第1回定例会以降本定例会開催までの議会活動。

- ・ 議会議長会事業・議長に要請のあった諸会合 12件
  - ・ 町議会活動 5件
  - ・ 常任委員会活動 14件
  - ・ 一部事務組合活動 5件
  - ・ その他委員会活動 3件
- 議会の詳しい活動は、Facebookに随時掲載しています。



Facebookで議会活動を発信中

一部事務組合

それぞれの組合において、令和6年第1回定例会が開催され、令和6年度予算が審議され可決されました。

東河環境センター

令和6年度予算

し尿処理施設

河津町負担金

4873万9千円

東伊豆町負担金

6714万2千円

ごみ処理施設

河津町負担金

1億9011万4千円

東伊豆町負担金

3億3921万4千円

伊豆斎場組合

令和6年度予算

歳入歳出

4560万円

河津町負担金

599万1千円

火葬件数は、令和5年

4月から令和6年1月ま

での間で、総件数803

件、うち河津町110件

下田地区消防組合

令和6年度予算

歳入歳出

14億3138万8千円

河津町負担金

2億652万8千円

河津町特別負担金(デジタル無線機等)

448万8千円

河津町特別負担金(基金積立)

744万6千円

下田メディカルセンター

令和6年度予算

病院事業収益

4億620万円

病院事業支出

7億2655万円

河津町負担金

775万1千円

特別負担金(解体工事費)

553万2千円

出資金

194万8千円

能登半島地震

応援派遣レポート

議会事務局

書記 山田祐司

石川県六水町にて2月18日から26日までの間、住家被害認定調査職員派遣の業務にあたりました。

罹災証明書の発行のため、住家の被害状況(全壊、半壊など)を屋根・壁・基礎などの損壊状況の確認と、建物の傾きを計測する仕事です。

実際の被害状況を目的の当たりになると、発災当時の恐怖は相当なものであったことが想像できました。また、自分が考えていた想定以上の被害状況であり、足を運ばなければ分からなかった多くの学びがありました。

「河津町で同規模の被害が起きたとしたらどうなってしまうのか。災害に対する準備は十分なのか。」という不安と



3人一組で調査を実施。築年数ある建物を中心に大きな被害・倒壊がみられた。

時に、実際の被害状況から、「災害に100%備えることは不可能」と実感しました。災害が起きたとき、まずは自らの命を守り、多くの人の協力を得ながら復旧・復興を進めていくのみと思えます。

能登半島は、条件的に伊豆半島と共通点が多いといわれます。今回の派遣を通じて体験したことで、学んだことを役場内で共有し、これからの業務に生かし取組んでいきたいです。

# 議会だより第101号

## 読者アンケート

締め切り  
5月末日必着

読者の皆様のご意見を紙面に反映したく、下記のアンケートにぜひご協力ください。  
各質問の回答をご記入の上、FAX又はメール、郵送（封筒）にて河津町議会事務局宛にお送りください。または、下記QRコードから、WEB回答できます。



スマホで簡単に  
アンケート回答  
ができます

- 送付先：〒413-0595 静岡県賀茂郡河津町田中212-2  
河津町役場 議会事務局  
※切手代などは各自ご負担願います。

Q1 「興味を引いた」あるいは「役に立った」記事は？

Q2 「議会だより」の記事で目を通したものは？（□にレ点をつけてください。

複数回答可）

- P.2～P.4 予算審査特別委員会
- P.14 議会のうごき・一部事務組合ほか
- P.5 定例会・臨時会
- P.16 私の一言・編集後記
- P.6～P.12 一般質問
- P.13 委員会活動

Q3 議会だよりに対する満足度は、どのくらいですか？（□にレ点をつけてください。）

- 1. 大変満足
- 2. まあまあ満足
- 3. もう少し
- 4. 不満

Q4 議会だよりの記事への感想、取り上げてほしいテーマなどがあればご記入ください。



抽選で5名様に  
「河津踊り子温泉会館入浴券」  
プレゼント!!

アンケート回答者の中から抽選で、5名様に「河津踊り子温泉会館入浴券」を差し上げます。

なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

お名前（任意）	
ご住所（任意）	
連絡先（任意）	

無記名でも回答いただけます。ただし、プレゼントの対象にはなりません。

お寄せいただきました情報は、議会だよりで紹介させていただく場合があります。また取材、原稿依頼等をさせていただく場合は、広報常任委員会より改めてご連絡申し上げます。ここでいただきました個人情報は、上記の目的以外に使用することはありません。

議会事務局 TEL0558-34-1957

FAX 番号 0558-34-1405

E-mail: [gikai@town.kawazu.shizuoka.jp](mailto:gikai@town.kawazu.shizuoka.jp)

## ～私の一言～



河津小学校第一期卒業生  
土屋 カンナ

「はじめよう、  
みんなできつくる河津小」

河津小は、「はじめよう、みんなできつくる河津小」をスローガンに、新しい学校づくりに取り組んでいます。

新しい学校づくりを進めていくために、ふれあい遊びやたてわり清掃で、仲間同士のつながりを深めています。顔も名前も知らない下級生もいましたが、遊びや掃除、運動会などの行事を通して、仲を深めることができました。また、各委員会が企画を提案したり、運動会のスローガンやキャラクターを決めたりするなど、みんなの意見を基に活動を考えて取り組みました。

三つの学校のよさを引き継ぎ、新しい学校で経験してきたことも取り入れながら、みんなで明るく楽しい河津小をつくってみたいと思います。



ふれあい遊び



河津町立河津小学校  
校長 鈴木 健五

「多くの方に  
支えられる河津小学校」

河津小学校が開校し、一年を迎えました。

本校の開校に向けて御尽力いただきました、関係の皆様に対しまして、改めて御礼を申し上げます。

河津小学校は、254人の児童が在籍する賀茂地区内では、最も人数の多い小学校となりました。子供たちは、新しい学校にも慣れ、新たに増えた仲間と共に充実した学校生活を送っています。

10月の運動会では、4色に分かれ演技や競技に全力で取り組む子供の姿、それを全力で応援する子供の姿に、迫力を感じました。また、その姿を応援して下さった地域・保護者の皆様の多さに、改めて多くの方に支えられていることを実感しました。

新しい学校には、たくさんの発見や喜びがあります。しかし、開校からは日も浅く、何かと困難なこともあります。今後とも、どうぞ皆様方の温かい、御理解・御支援をお願い申し上げます。



演技や競技に全力で取り組む子供たち

### 編集後記

コロナ禍を抜け、少子高齢化の進む中、令和6年度の予算が編成されました。正月に発生した能登半島地震に多くの教訓を得て、予想される南海トラフ巨大地震に備え、議会は町の防災対策を注視していきます。平素からの一人一人の準備を心がけてください。

新年度が町民のみなさんが明るい生活を送れるよう議会は活動します。

(渡邊昌)

広報常任委員会

委員長 桑原 猛

副委員長 北島正男

委員 正木誠司

〃 大川良樹

〃 渡邊昌昭

次回定例会は6月開催予定です。